境内地（境内建物）証明願について

1. 申請用紙

境内地（境内建物）証明願 2通

1. 添付書類 各 1通

(1)図書、写真等施設に関する書類

・実測図、境内内図面、境内内建物配置図、境内建物平面図

・写真（建物の場合には、その外観及び内部）

・付近の見取り図 など

・農地転用許可証の写し

(2)土地（建物）の自己の所有を表す書類

・土地（建物）の売買契約書及び売主の登記簿謄本

・建物の請負契約書及び建築確認書

・土地（建物）の寄付証書及び寄付者の登記簿謄本 など

(3)規則で定めた手続を経たことを証する書類

・責任役員会議事録

・その他の議決（総代会など）の同意書及び議事録

・包括宗教団体の承認書

・公告の写し、公告証明書、手段や公告したことを判別できる写真 など

(4)文部科学大臣又は他の都道府県知事の認証を受けている法人

・法人規則謄本

・法人登記簿謄本

(5)その他

事例によっては、上記のほかに添付を求める書類もあります。

注１ 上記 2 の添付書類については、考えられる書類を例示したものであり、当該法人の規則や個別の事例などにより、不必要となる場合や別に書類が必要となる場合がある。

1. 代表役員の印鑑は、宗教法人の代表役員の印鑑として法務局（登記所）に提出してあるものを使用すること。
2. 物件の表示は、不動産登記簿記載のとおりとすること。
3. 証明願の末尾には、証明文を記載するために必要な余白（6cm 以上）を設けること。
4. 写しを添付書類とする場合は、代表役員の原本証明を付すこと。
5. 添付書類について、詳しくは県に確認すること。

■原本証明について

責任役員その他規則で定める機関の議事録、土地（建物）の売買契約書など原本を 1 部のみ作成・保有するような書類については、その写し（コピー）を提出していただくことになりますが、この場合、その余白に原本と相違ない旨の証明が必要です（このことを「原本証明」といいます。）。

なお、写し（コピー）が２枚以上にわたる場合には、割印をお願いします。

※ 原本を 2部作成し、その副本を提出する場合には、この原本証明は不要です。

※

原本証明

の

例

（

議事録

の

写

し

（

コピー

）

の

場合

）

（

議事録

の

写

し

（

コピー

）

）

（

一番下

の

余白

に

次

の

文言

を

加

えてください

）

。

この

議事録

の

写

しは

、

原本

と

相違

ありません

。

令和

年

月

日

（

←

証明

した

日

の

日付

）

宗教法人

「

○○○

」

（

←

宗教法人名

）

代表役員

○○○○

印

（

←

代表役員印

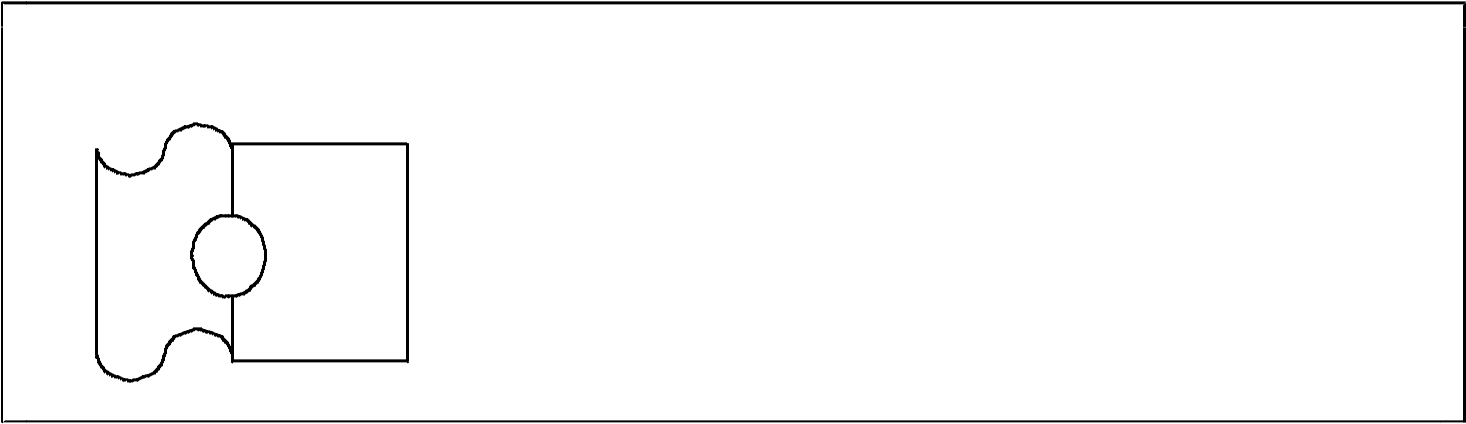
を

押印

）

■割印について

「割印」とは、2 枚以上の文書が一連であることを証明し、差し替えなどの不正を防止するために、それぞれの文書にまたがって押印することです。

割印の際には、宗教法人の代表役員の印鑑として法務局（登記所）に提出してあるものによってください。印

※割印の例

　関連する文書をホチキスで2箇所留めします。

　　　　　　　　　　　　　　　書類を開いて、それぞれのとじ目に印影がかかるように押印します。（袋とじとする場合は、一連の文書の裏と袋とじの両方に印影がかかるように押印することで足ります。）